

## 令和5年度 公益社団法人王寺町シルバー人材センター 事業報告

私たちの生活や地域経済活動に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国において昨年5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類感染症に移行され、感染対策は個人や事業者の判断に委ねられるなど大きな転換点を迎えましたが、社会経済情勢にはまだまだ大きな影響を残しています。

当シルバー人材センターにおいても、安全就業を第一に感染対策を講じながら状況に応じた取り組みを進めました。

元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー人材センター事業は、益々その役割を果たすことが求められており、その役割は非常に重要なもので、地域高齢者の活躍を支え、生涯現役社会の実現のためにも必要不可欠な存在となっています。

しかしながら、企業においては65歳までの雇用確保に加え、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、70歳までの就業機会の確保が努力義務となるなど雇用情勢が変わり、60歳代の若年会員の激減による会員の高齢化と減少傾向は、シルバー人材センター全体の深刻な問題となっています。

このようなことから、シルバー人材センターの安定的な事業運営を図るためには、会員の入会促進と就業機会の確保・拡大が急務であると考えます。

そのためには、センター自体の認知度・印象度の向上と、事業に対する理解を深めていただけるよう、会員募集のポスター、幟、マグネットシートなどの掲出や王寺町広報誌「王伸」への掲載、チラシの各戸配布等による普及啓発活動に努めました。

次に講習会では、会員の就業拡大・拡充を図るため技能講習を開催し、

また、安全衛生委員会による安全パトロールも実施しました。

高齢者が身近な地域で安心して働き続けることができる組織・地域づくりを推進するためにも、引き続き多様な就業機会の確保と提供に尽力していきます。

事業実績では、会員皆様のご理解・ご活躍と一般家庭並びに王寺町をはじめ関係機関のご支援ご指導のもと、入会の促進と就業機会の確保に努めてまいりましたが、請負契約金額 88,768 千円、前年度比 102.9% で、2,548 千円の増となりました。

一方、派遣事業では契約金額 4,240 千円、前年度比 60.9% で、1,896 千円の減となりました。

依然として会員の高齢化と就業機会の減少は課題となっていますが、今後、より一層の普及啓発活動で新規会員の確保と就業機会の開拓に邁進し、事業の拡大に努めてまいります。